

令和元年度
「大学スポーツ振興の推進事業(大学スポーツ
アドミニストレーター配置事業)」

成果報告書

目次

1. はじめに	1
2. スポーツ分野の統括業務の実施状況について	2
3. 大学スポーツ・アドミニストレーターの配置の状況について	2
4. 委託事業の実施について	
① 学生アスリートのキャリア形成支援 MCP(Making Career Plan) クラブマネジメントプログラム 『ホーム&アウェイ方式での試合の試行的な実験実施』の開催	4
② 「仙台大学スポーツサイト(仙スポ)」の運用～学生キャリア形成支援と スポーツに対する理解醸成・応援文化の定着の観点を複合的に展開	10
5. その他スポーツ局の活動報告	
① UNIVAS 研修会報告及び 指導者向けコンプライアンス研修会の実施	13
② 産学官連携『中学校部活動支援事業』に関する連携協定締結	23

1. はじめに

学長 遠藤保雄

本学では、東北で唯一の体育スポーツ科学系大学として、「日本版 NCAA の導入推進事業」の助成を受け、東北の他大学に先駆け平成30年9月にスポーツ局を学長直属の組織として設置した。その後、平成31年3月には「大学スポーツ協会 (UNIVAS)」が創設され、国レベルでの大学スポーツ振興の枠組みができたことを踏まえ、今年度はUNIVAS との緊密な連携のもとでスポーツ庁の「大学スポーツ振興の推進事業 (大学スポーツアドミニストレーター配置事業)」を活用し、専任のスポーツアドミニストレーターを配置し、昨年度に引き続き、スポーツ局を中心とした本学のスポーツ活動全体の活性化のための取組みを継続してきた。

スポーツ局では、スポーツブランディング事業などの戦略的事業の推進とアスリートとクラブ支援業務の推進の両面について、学内の各組織と有機的な連携を取りながら業務を進めている。従来の大学の部活動はそれぞれが独立して運用されてきたことから、部活動横断的な学内統括組織の設置については職員の中に戸惑いも見られたが、専任のスポーツアドミニストレーターを配置することにより連絡調整機能が強化され、本学のスポーツの振興とスポーツに取り組む学生への支援強化、コンプライアンスの徹底などについて、学内の認識の共有化が図られてきていることは大きな前進である。

今年度の取組みの一つとして、昨年度は屋外種目のサッカーで実施したホームアンドアウェイ方式による大学間のテストマッチを、室内種目のバレーボールで行ったことが挙げられる。本学と同じ県の南部に所在する尚絅学院大学の女子バレーボール部を対戦相手として行うこととし、実施に向けた協議の中で、単なる対抗戦とするのではなく、今年実施される東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、まだ知名度の低いパラ種目である「シットイングバレーボール」を周知する機会ともすることで合意し、関係機関の協力のもと多くの観客を得て実施できたことは意義深いものであった。併せて、これを機会に同大学との間で連携協定を締結し、スポーツ以外の研究・教育・地域貢献等でも今後共同して取組みを進めていくこととなったことも大きな収穫である。

また、体育スポーツ科学系大学におけるスポーツに関する積極的な情報発信が極めて重要であるが、そのツールとして「仙台大学スポーツサイト (仙スポ)」を構築したことも、今年度の大きな成果である。特に、SNSを活用し、「する・みる・ささえる」スポーツを実践している学生自身による情報発信に重点を置いた「仙スポ」の構築は、今後の本学スポーツ情報の発信媒体として威力を発揮するものと期待している。

今年度は、上記の他にも指導者に対するコンプライアンス研修会やスポーツを通じた地域貢献事業の実施など、本学としての「足場を固める」事業に重点を置いて取り組んできたが、いずれも「学生ファーストで面倒見のよい大学」としての University Identity の追及に寄与するものであり、その成果を来年度以降につなげていきたいと考えている。

2. スポーツ分野の統括業務の実施状況について

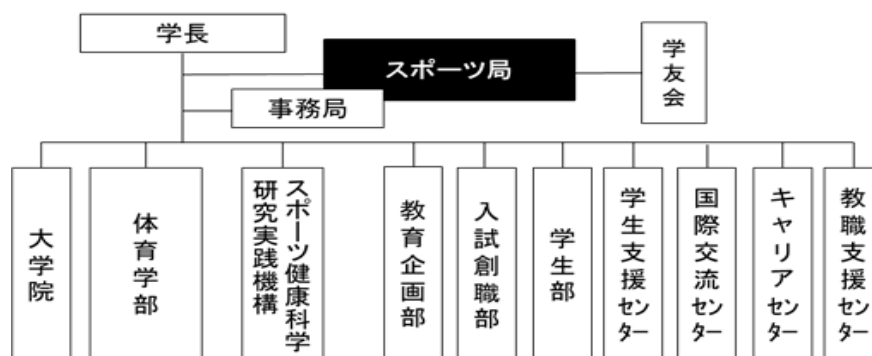
学長直属の機関として平成 30 年 9 月 1 日付にて設立したスポーツ局が主管として担い、大学のスポーツ活性化のための戦略方針の具現化に向けて、学友会と教学組織、事務組織の円滑な連携による部活動の一層の活性化に向け、戦略方針の策定と実践における組織間調整を行っている。

○仙台大学スポーツ局人員体制

- ・スポーツ局長（副学長兼任） 1 名
- ・スポーツ局副局長（教員兼任） 2 名
- ・スポーツアドミニストレーター 2 名（教員兼任・専任）
- ・マネジメントスタッフ 1 名（事務職員専任）
- ・ワーキングスタッフ 34 名（事務職員兼任）

以上、合計 40 名体制で、各業務に対応できるように整備した。

スポーツ局が置かれる仙台大学教学組織図は以下のとおりである。



3. 大学スポーツ・アドミニストレーターの配置の状況について

①大学スポーツ・アドミニストレーターに雇用した者に求めた資質・能力等

- スポーツ分野の統括管理を推進していくスポーツ局において、中心となって戦略推進を進めて行く役割がスポーツ・アドミニストレーターである。特に、学友会を中心とした部活動、センターや部等の教学組織、事務局の各組織との組織間調整と方向付けを行うコントロールタワー機能を担っている。

○本学では、スポーツ局長・副局長の配下に2名のスポーツ・アドミニストレーターを配置しているが、そのうち1名を専任の事務職員とし統括業務等を推進している。

○既存事務組織との連携においては、学内の各組織が関連性を持つことから各部門から1名の職員をワーキングスタッフとして兼務任命し、組織の屋上屋化や人件費の増大を抑える体制を整えた。

②大学スポーツ・アドミニストレーターが担っている役割・具体的に行った業務

○スポーツ分野の統括全般を担う業務ではあるが、業務種別によって推進手法を分け、メリハリのある業務体系を設計する。

○管理型業務は、ルールづくり、仕組みづくり、システム化によって業務の定型化を行い、既存事務組織の業務改善につなげ、効率改善と効果創出を目指す。

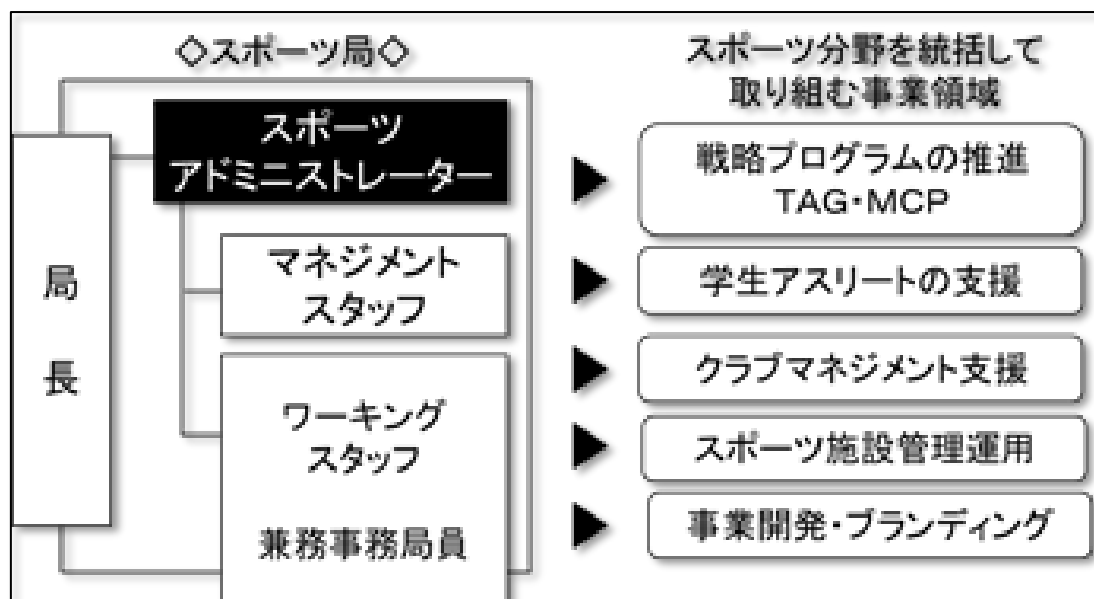
→→学生アスリートの支援プログラム・部活動マネジメント業務のパッケージ化・スポーツ施設の利用運営管理

○創造型業務は、外部組織や団体との調整窓口機能を果たし、培ったネットワークからの新しい知見の導入を進め、新たな事業開発につなげていく。

→→ブランディング促進と将来的な大学スポーツのビジネス化を視野に入れた業務

○本学のスポーツ局スポーツアドミニストレーターが行った具体的な業務としては、近隣の岩沼市と本学、一般企業（株式会社フクシ・エンタープライズ）との間で「中学校部活動支援事業」に関する三者連携協定の締結に向けて必要な調整を行い、課題を抱える中学校部活動への支援を行うシステムを構築し、「スポーツによる地域貢献」を実現した。（令和 1. 12. 3 締結） →→※P23 参照

<※本学におけるスポーツアドミニストレーターの位置づけ>



4.委託事業の実施について

① 学生アスリートのキャリア形成支援 MCP (Making Career Plan) クラブマネジメントプログラム

『ホーム&アウェイ方式での試合の試行的な実験実施』の開催

本学では、多くの学生がスポーツを「する」のみならず、「ささえる」スポーツを学んでいる。それらの中でも特にスポーツ競技運営ノウハウの試験的実行として、試行的に今年度は室内競技であるバレーボール競技にて、東北地区内のチームとの間でテストマッチの実験実施を当初計画した。計画を進める中で対戦相手が決定し、開催に向けた協議を相手校である尚絅学院大学と重ねる過程において、東京パラリンピックの機運醸成にもつながるものになりたいというねらいから、東京パラリンピック競技種目の一つである身体障害者競技のシッティングバレーボールについての広報普及活動を中心とすることとなった。

開催日には、尚絅学院大学において地元中学生を対象とし20年間継続して開催してきたバレーボール大会が行われることから、その大会終了後に同大学の体育館にて開催することによって、中学生を含む観客動員増を図ることとした。また、普及試合の様子はインターネットによるライブ配信を行い、広く情報発信を行った。

【概要】

日 時	: 2020年1月12日(日)
会 場	: 尚絅学院大学体育館(宮城県名取市)
相 手	: 尚絅学院大学女子バレーボール部
協 力	: 第二塩化リゾチーム(県内唯一のシッティングバレーボールチーム)

【実施内容】

1. 開催通知方法

本学男女バレー部所有のSNSより各方面へ告知
仙台大学公式HPによる開催告知
尚絅学院大学公式HPによる開催告知
チラシ(開催プログラム)による開催告知(1,000部)

2. ネット配信

カメラ1台を配置し、インターネットにより生中継を実施。

<開催チラシ(プログラム)>

学生アスリートのキャリア形成支援 クラブマネジメントプログラム
シッティングバレーボールの広報・普及活動による学生アスリートのキャリア形成支援試合

Let's Play Sitting Volleyball!



仙台大学



尚綱学院大学

Sendai-University-Wi-Fi



この付近でWi-Fi使えます
Free Wi-Fi Available Here

SSID: Sendai-University-Wi-Fi 接続後、上記のQRコードを読み取ります。
QRコードが読み取れない場合は、インターネットブラウザを開いていただき、アドレスの欄にhttp://www.wifi-doud.jp/と入力してください。

試合のライブ中継配信中!



https://vr.ntt-bp.net/
sendaiuniv2020/

日時 令和2年1月12日(日) 15:00~

会場 尚綱学院大学体育館 宮城県名取市柳りが丘4丁目10番1号

主催: 仙台大学

主管: 仙台大学 スポーツ局 協力: スポーツ庁/宮城県障害者スポーツ協会/尚綱学院大学

本大会に関する問い合わせ先
仙台大学スポーツ局
〒989-1693 宮城県栗田郡栗田町船岡南2丁目2-16
電話: 0224-55-3087 E-mail: su-ad@sendai-u.ac.jp

開催の趣旨

本事業は、ホーム&アウェイ方式での試合を開催することにより、その過程も含め学生アスリートが体験的に学修しキャリア形成支援につなげていくことを目的として実施するものである。2回目となる今回は、屋内競技として尚綱学院大学のご協力をいただき女子バレーボールの種目で開催することとなった。今回の実施にあたっては、東京オリンピック・パラリンピックを目前に控え、単なる対抗戦の形式ではなく、オリンピックの種目に比べて注目度が低いパラリンピック種目に焦点をあてて宮城県障害者スポーツ協会のご協力のもと、「シッティングバレーボール」での対抗戦の形式をとることとし、本種目の特色と魅力を発信し、2020東京オリンピック・パラリンピックへの機運醸成にもつなげていくこととした。

タイムテーブル

15:00	挨拶	仙台大学 学長 遠藤 保雄 尚綱学院大学 学長 合田 隆史	
15:05		両大学の選手及び審判、講師の紹介	
15:15		普及試合開始(解説を加えながら試合を進行)	
16:25	挨拶	仙台大学スポーツ局長	
16:30		終了予定	

プレイヤー

()は学生

 仙台大学
女子バレーボール部



部長 大内 悦夫	1. 梶田 颯加 (4)	6. 菊池 深月 (3)	13. 齋藤 颯加 (2)	18. 加藤 颯 (1)
監督 荒牧 圭次	2. 三浦 彩花 (4)	7. 山口 結子 (3)	14. 船山 美 (2)	20. 佐藤 麗奈 (1)
	3. 中津 真悠 (4)	8. 北之本麻穂 (3)	15. 矢吹 舞香 (2)	21. 鈴木南菜津 (1)
	4. 栗野 舞華 (4)	11. 松岡 梨乃 (2)	16. 北山 結美 (2)	22. 大西いちご (1)
	5. 渡邊 真理 (4)	12. 齋藤 愛 (2)	17. 平野 愛佳 (1)	

アナリスト 伊東かれん (3) 佐藤 天美 (3)

 尚綱学院大学
女子バレーボール部



監督 小田嶋 光	1. 野生 真衣 (3)	6. 大立目 遥 (3)	10. 水村佳也乃 (1)	15. 相原 歩帆 (1)
コーチ 石塚 真理	2. 佐藤 未歩 (4)	7. 千塚 友和 (3)	11. 鹿井 音美 (2)	20. テンゾアヒ (1)
トレーナー 石川 博志	3. 齋藤 慎子 (4)	8. 廣末 理沙 (2)	12. 藤井 悠理 (2)	
	4. 林 聖美 (3)	9. 渡邊 幹 (1)	14. 宮原 瑞千 (1)	

**審判 解説を
していただく皆さん**
第二強化リゾチーム



宮城県内で唯一のシッティングバレーボールチーム、仙台市宮城野区幸町を練習拠点とし、東北 全国規模の大会にも出場、県内の小中学校やバラスポーツに熱心を持つ団体等への体験会を通じて、シッティングバレーボールの魅力を伝えていく。

<普及試合の様子>①



仙台大学、尚絅学院大学の女子バレーボール部によるシットイングバレーの試合形式による実演。
下写真奥は、ライブ中継をする本学学生カメラマン。(女子バレー部アナリスト)

<普及試合の様子>②



ルール説明、解説を行った宮城県唯一のシッティングバレーチーム、第二塩化リゾチームの皆さん



最終セットでは、当初予定にはなかった当事者を加えた普及活動に発展

<両大学学長挨拶及びスポーツ局長挨拶の様子>



尚綱学院大学 合田学長の挨拶



仙台大学 遠藤学長の挨拶



挨拶を聞き入る学生達



仙台大学 高橋スポーツ局長の挨拶

Let's Play Sitting Volleyball !
仙台大学 vs 尚綱学院大学



インターネットによるライブ配信の様子

<本学学生による開催後の感想文>

シッティングバレーを経験して

私は、小学校4年生から大学4年生までの12年間バレーボールを行ってきました。私自身、バレーボールは球技の中でも様々な技術を習得したり、戦略を考え試合をしたりするのが難しいスポーツであると、今までバレーボール競技を経験してきました。その中で、今回は初めてシッティングバレーを経験しました。シッティングバレーは、私が今まで行ってきたバレーボールとは大きく異なり、座って行うのが特徴的です。また、コートも小さくやネットも低いため、動きは通常のバレーボールよりもコンパクトになります。しかし、座っている状態での動作はボールの落下点に入ることでさえ難しいと感じました。また、下肢が使えない分、上肢の細かい部分の使い方が重要であることも感じることができました。今回のシッティングバレーを通して、障がい者スポーツは、簡単にできるスポーツではないことを学ぶことができました。どちらも「スポーツ」であることは変わりなく、それぞれにスポーツの楽しさがあり、障がい者スポーツは特に障がいのある人、ない人が一緒に楽しむことができる素晴らしいものであると感じました。

私は、今まで身体を満身に動かし、スタンディングのバレーボールを長年行ってきました。しかし、障がいのある人も楽しむ場所、戦う場所があるということが、今回実際にシッティングバレーを体験して学ぶ事ができました。また、障がい者スポーツというのは、これまで私が行ってきたスポーツの種目よりも奥深い部分が多くあり、より高い技術が求められることも学ぶ事ができました。今まで、このような障がい者スポーツを実際に行う機会は少なかったもので、とても良い経験になりました。今年には東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピックだけでなく、パラリンピックに興味を持つ人を増やしていきたいように、今回の経験を周りに積極的に発信していきたいと思えます。

② 「仙台大学スポーツサイト（仙スポ）」の運用～学生キャリア形成支援とスポーツに対する理解醸成・応援文化の定着の観点を複合的に展開

本学における部活動の結果報告等については、現在、各部活担当者からHP運営委員会に報告し、それを大学公式HPに載せている。また、それぞれ各部活動毎にツイッターなどのSNSにて独自に活動や結果を公表しているのが現況である。

そこで、これまで個別に発信していた部活動情報を大学として集約するとともに、学生自身がさらに積極的に自分たちの活動を発信できるようなサイトを創設し、「仙台大学スポーツサイト（仙スポ）」として展開することで、そのスケールメリットや相乗効果による認知度向上を図るとともに大学のブランディングにつなげていくこととした。

また、各部活動の活動に対する相互理解醸成や部活相互の応援文化の定着にもつなげていきたいと考え、サイト構成を構築した。

さらに運用に際しても学生自身が積極的に関与できるよう、学友会と緊密な連携をとっていくこととしている。

○サイトマップ

各運動部の公式ツイッターの集合体をコンテンツの柱とし、各部活の試合日程集約やクラブ一覧管理、試合や練習の動画も掲載する予定としており、随時タイムリーな情報発信を行うものとする。



<仙スポサイト TOP ページ(令和2年2月時点)>



NEWS



女子サッカー部：5年連続なでしこリーグへ！船木里奈選手がなでしこリーグ1部 マイナビバルタ仙台レデ...

仙スポTwitterニュース

- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
男子100m自由形 B決勝
吉田歩夢 54.57 1位 [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
男子200m個人メドレー B決勝
志田 開 2:14.78 1位 best! [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
男子50m平泳ぎ A決勝
佐々木祐那 36.10 5位 [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
男子200mバタフライ A決勝
山口大地 2:11.89 5位 best! [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
男子50m平泳ぎ
武山直樹 30.19 5位通過 [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
女子100m平泳ぎ A決勝
佐々木祐那 1:17.67 5位 [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
男子100m平泳ぎ
星 泰隆 1:13.03 [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
女子100mバタフライ
鈴木彩葉 1:11.73 16位 [MORE >](#)
- サッカー部**
【現本学四年生松尾佑介 Jリーグ開幕戦スタメン】
現本学四年生松尾佑介選手 先週VBCルヴァンカップでもスタメンでしたが、今日の J1 リーグ開幕戦でもスタメン!
[https://t.co/uwK9dD ...](https://t.co/uwK9dD...) [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
男子200mバタフライ
山口大地 2:17.82 8位通過 [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
男子100m平泳ぎ
星 泰隆 1:13.03 [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
男子100mバタフライ
山口大地 59.25 10位 [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
男子50m平泳ぎ A決勝
武山直樹 30.12 3位
<https://t.co/vVnJz4U2aE> [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
男子200m個人メドレー
志田 開 2:16.71 best! [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
女子200mバタフライ
鈴木彩葉 2:39.53 [MORE >](#)
- サッカー部**
【OB情報追加】
山田選手
川上選手 <https://t.co/xHaQCpw4xy> [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
男子100m自由形
星 泰隆 57.42
吉田歩夢 54.74 [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
女子50m平泳ぎ
佐々木祐那 36.25 4位通過 [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
男子100mバタフライ B決勝
山口大地 58.70 1位 Best! [MORE >](#)
- 水泳部**
<宮城県長水路選手権 2日目>
男子50m自由形
志田 開 25.96 best! [MORE >](#)

MORE

試合日程

▼クラブを選択して絞り込む ▼



前月へ

2020.02の試合



次月へ

開催日	クラブ	試合内容	試合会場
2020.02.15(土)	軟式テニス部	2020年度 第3回東北地区社会人・大学野球対抗戦(七十七銀行 vs 仙台大学)	東北福祉大学野球場
2020.02.18(火)	新体操競技部	2020年度 第3回東北地区社会人・大学野球対抗戦(七十七銀行 vs 仙台大学)	東北福祉大学野球場
2020.02.25(火)	硬式野球部	第44回リーグ戦 2019年同輩(宮宇大学 仙台大学)	仙台市 松上競技場

MORE

トピックス



最注目

女子サッカー部：5年連続なでしこリーグへ！船木里奈選手がなでしこリーグ1部 マイナビベガルタ仙台レディースに入団

この度、女子サッカー部の船木里奈選手（体育学部4年）が、日本女子サッカーリーグ「マイナビベガルタ仙台レディース」に入団が決まりましたのでお知らせいたします。

【船木里奈（ふなきりな）】...

MORE

2019.12.26



その他

スポーツ情報マスメディア学科就職情報-情報戦略モデル-

スポーツ情報マスメディア学科を、この3月に卒業する学年が、それぞれ4年間の学びを経て、夢がかなえることができました。今回はそのうちの1人、情報戦略モデルの中巻智哉さん（V1リーグ所属 入分 好古）...

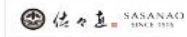
MORE

2020.02.12

MORE

クラブスポンサー

スポンサーA



仙スポ

仙台大学

仙台大学 本学サイトはこちら >

© 2020 SENDAI UNIVERSITY.

5. その他スポーツ局の活動報告

① UNIVAS 研修会報告及び指導者向けコンプライアンス研修会の実施

「UNIVAS 研修会報告及び指導者向けコンプライアンス研修会」を開催した。指導者向けコンプライアンス研修会では外部講師として、ひろむ法律事務所の斉藤睦男弁護士をお招きし、「社会の変化と大学における部活動指導」をテーマに過去の部活動における体罰やハラスメントの実例の紹介や、法律を元にした部活動指導における留意点等を講話頂きました。また、UNIVAS 研修会報告では名取教授より、UNIVAS の現状や抱える課題等の報告がなされ、質疑応答では活発な意見交換がなされた。

【実施日】

令和元年 12 月 17 日（火） 14：00～16：00 仙台大学講義棟

【対象者】

部活動指導者（部長・監督等）

【参加人数】

58 名

<研修会の様子>



UNIVASの設立理念

大学スポーツの振興により、「卓越性を有する人材」を育成し、
大学ブランドの強化及び競技力の向上を図る。

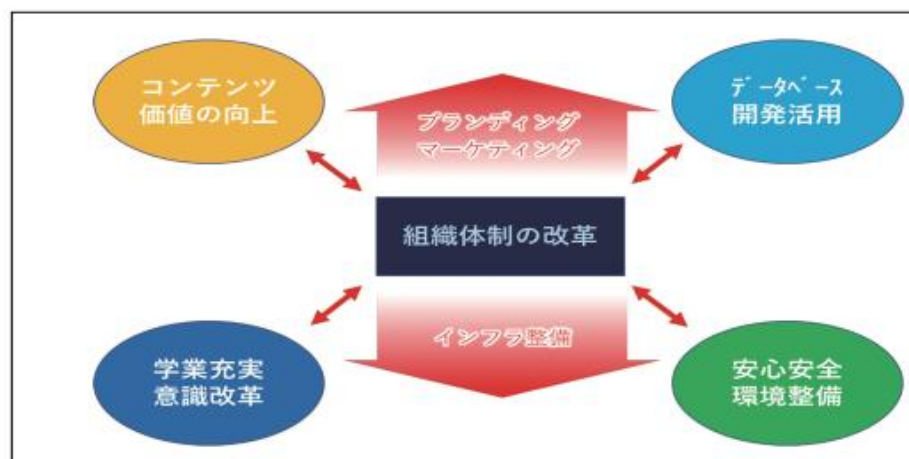
※「卓越性を有する人材」…知・徳・体(生きる力)を備えた、身体面・精神面と学業面で優れた人材。

UNIVASが目指すもの

▶「大学スポーツの振興」と、その為の学生アスリートが安全・安心で取り組める環境の整備。

- ▶ 学生アスリートの適する人格の形成、健康の増進、学力の向上
- ▶ 大学スポーツ活動を通じた卓越性のある人材の育成
- ▶ 競技環境の整備による競技力の向上
- ▶ 大学スポーツの経済的価値の拡大
- ▶ 大学スポーツを活用した大学ブランドの強化
- ▶ 地域と一体となって取り組むことによる地域活性化への貢献

UNIVASが取り組む5つのテーマ



地区別大学会員数及び大学種別会員数

地区	大学	短大	合計	入会率	区分	校数
北海道	9	1	10	23.7%	国立	30
東北	11	0	11	21.6%	公立	3
関東	64	6	70	25.0%	私立	169
中部	39	5	44	28.9%	短大	20
近畿	38	5	42	24.5%	合計	222
中国	11	0	11	21.2%		
四国	10	1	11	62.5%		
九州	20	2	21	25.3%		
合計	202	20	222	25.8%		

※入会率は4年制大学のみで算出

競技団体会員（34団体）

アーチェリー	ゴルフ	テニス	ボクシング
アメリカンフットボール	サーフィン	トライアスロン	ホッケー
ウエイトリフティング	柔道	なぎなた	野球
オーストラリアンフットボール(※)	少林寺拳法	馬術	ライフル射撃
オリエンテーリング	水泳	バスケットボール	ラグビー
カヌー	スキー	バレーボール	ラクロス(※)
空手	スポーツチャンバラ	ハンドボール	レスリング
日本拳法(※)	ソフトテニス	フライングディスク	
航空	ソフトボール	ボート	(※)連携会員

UNIVASが取り組むプログラム

委員会	プログラム	実施内容
デュアル キャリア 委員会	1 入学教育前プログラムの提示・支援	Eラーニング等のプログラムの提供
	2 指導者管理者研修の実施	全国8地域での研修会の開催
	3 学業基準導入可能性の検証	実証3年の初年度としてデータ取得
	4 キャリア形成支援プログラムの提供	学生支援プログラムの提供
安全 安心 委員会	5 学生の相談窓口の設置	相談窓口の稼働
	6 地方大会助成(メディカル運営)	助成金の支給、精算の完了
	7 安全安心ガイドラインの提示	大学・学連へのガイドライン提示
	8 事故・怪我予防事例研究	研究初年度としてのデータ取得分析
事業 企画 委員会	9 試合の動画配信(600試合規模)	600試合の配信実施
	10 競技横断型大学対抗戦の開催	ポイント獲得型大会の開催
	11 競技日程カレンダーの作成	カレンダーの公開
	12 年間表彰の実施	表彰式の開催
DB開発委 員会	13 データベース開発	データベース設計と登録促進
総合推進 委員会	14 スポーツ統括業務手引書の提示	手引書の提示

UNIVAS CUP2019の開催

➤UNIVASCUPの狙う効果

- 1) スポーツ総合力競う新しい大会として大学スポーツのブランディングを促進する
- 2) アスリートが他競技にも関心を持つきっかけとなり、アスリート同士の一体感醸成を促進する
- 3) 一般学生も自学の運動部に関心を持つきっかけとなり、大学に対するロイヤルティを醸成する
- 4) OBOG等大学スポーツのステークホルダーに対する大学スポーツの認知拡大を促進する
- 5) 競技大会の価値向上につながり、大学スポーツの更なる振興をもたらす。

試合動画の無料配信

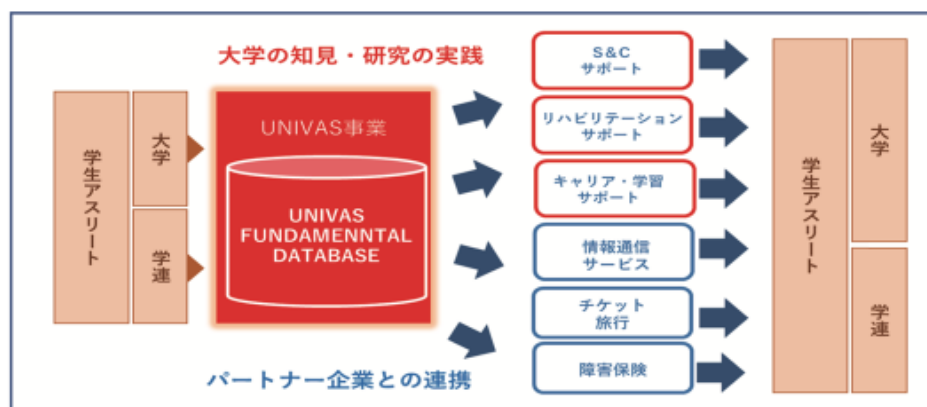
◇試合動画は、UNIVASのオフィシャルサイト(PC・Smart Phone)にて無料視聴が出来ます。

◇ライブ配信のみならず、ダイジェスト動画はいつでも視聴が出来ます。今秋からは、映像アーカイブをオープンし、過去動画はUNIVAS会員のみが視聴できる会員特典とする予定です。

◇また、UNIVASオフィシャルサイト以外の一般スポーツ系サイトでもダイジェスト動画を展開し、試合の更なる露出拡大とUNIVASオフィシャルサイトへの集客を図っていきます。

学生アスリートのデータベースの構築

[データベースの全体像]



危機管理とコーチング哲学

・【1】責任と安全管理

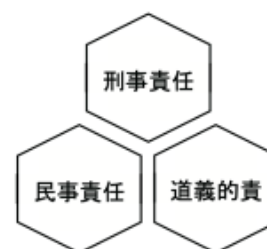
①スポーツと責任

ア) 危機の予測

イ) 未然防止に向けた取り組み (安全管理)

ウ) 危機発生時の対応

エ) 対応の評価と再発防止に向けた取り組み (安心管理)



運動部活動の安全管理

①安全確保	<ul style="list-style-type: none">● 外傷や障害の知識● 危険予見・回避(服装、用具、環境、計画)
②安全教育	<ul style="list-style-type: none">● 指導者と学生の教育(インテグリティ)● ルールの遵守、フェアプレイ教育
③法令遵守	<ul style="list-style-type: none">● 急性アルコール中毒、軽犯罪、ハラスメントの防止● 情報漏洩対策
④会計管理	<ul style="list-style-type: none">● 適切な記録、領収書の保管・整理● 会計監査

運動部活動の安心管理

①危機対応	<ul style="list-style-type: none">● 応急処置● 体制構築、規程策定、マニュアル策定● 訓練(シミュレーション)
②補償対策	<ul style="list-style-type: none">● 保険の加入状況調査● 適切な保険の調査・加入促進
③再発防止	<ul style="list-style-type: none">● ヒヤリ・ハット・キガカリ活動● 事例の報告・蓄積・分析・共有● 情報の収集

コーチング哲学・信念

- 哲学・信念をみなおすこと
- 優れた指導者を参考にすること
- 他の指導者と意見交換すること

グッドコーチに向けた「7つの提言」

スポーツに関わる全ての人々が、以下の「7つの提言」を参考にし、新しい時代にふさわしい、正しいコーチングを実現することを期待します。

1 暴力やあらゆるハラスメントの根絶に全力を尽くしましょう。

暴力やハラスメントを行使するコーチングからは、グッドプレーヤーは決して生まれないことを深く自覚するとともに、コーチング技術やスポーツ医・科学に立脚したスポーツ指導を実施することを決意し、スポーツの現場における暴力やあらゆるハラスメントの根絶に全力を尽くす必要があります。

2 自らの「人間力」を高めましょう。

コーチングが社会的活動であることを常に自覚し、自己をコントロールしながらプレーヤーの成長をサポートするため、グッドコーチに求められるリーダーシップ、コミュニケーションスキル、論理的思考力、規範意識、忍耐力、克己心等の「人間力」を高める必要があります。

3 常に学び続けましょう。

自らの経験だけに基づいたコーチングから脱却し、国内外のスポーツを取り巻く環境に対応した効果的なコーチングを実施するため、最新の指導内容や指導法の習得に努め、競技横断的な知識・技能や、例えば、国際コーチング・エクセレンス評議会 (icce) 等におけるコーチングの国際的な情報を収集し、常に学び続ける必要があります。

4 プレーヤーのことを最優先に考えましょう。

プレーヤーの人格及びニーズや資質を尊重し、相互の信頼関係を築き、常に効果的なコミュニケーションにより、スポーツの価値や目的、トレーニング効果等についての共通認識の下、公平なコーチングを行う必要があります。

5 自立したプレーヤーを育てましょう。

スポーツは、プレーヤーが年齢、性別、障害の有無に関わらず、その適性及び健康状態に応じて、安全に自主的かつ自律的に実践するものであることを自覚し、自ら考え、自ら工夫する、自立したプレーヤーとして育成することが必要です。

6 社会に開かれたコーチングに努めましょう。

コーチング環境を改善・充実するため、プレーヤーを取り巻くコーチ、家族、マネージャー、トレーナー、医師、教員等の様々な関係者(アントラージュ)と課題を共有し、社会に開かれたコーチングを行う必要があります。

7 コーチの社会的信頼を高めましょう。

新しい時代にふさわしい、正しいコーチングを実施することを通して、スポーツそのものの価値やインテグリティ(高潔性)を高めるとともに、スポーツを通じて社会に貢献する人材を継続して育成・輩出することにより、コーチの社会的な信頼を高める必要があります。

平成27年3月13日
コーチング推進コンソーシアム



デュアルキャリア支援の必要性

- デュアルキャリア支援の取り組み
スポーツ活動と同時に行う「デュアルキャリア支援」
- 卓越性を有する人材の育成
知・徳・体を備えた身体面・精神面・学業面で優れた人材
- 学業に関する法令と施策
学校教育法「大学は、學術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的、及び応用的能力を展開させることを目的とする」
大学設置基準～単位制度・成績評価

競技力向上と指導者の役割

- 指導者の役割
競技者やチームを育成し、目標達成のために最大限のサポートをすること
(スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議、2013)

指導者（コーチ）が果たすべき役割や機能

- ①ビジョンと戦略の設定
- ②環境の整備
- ③人間関係の構築
- ④練習での指導と競技会への準備
- ⑤現場に対する理解と対応
- ⑥学習と振り返り

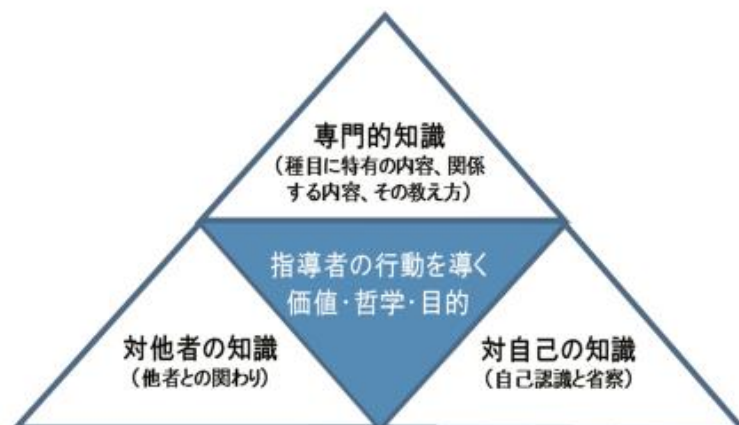
出典:国際コーチングエクセレンス評議会

https://www.icce.ws/_assets/files/iscf-1.2-10-7-15.pdf

指導者の心得

- 指導者はサポーター、主役は選手
- 指導者にとって必要な知識
「専門的」「対他者」「対自己」の3つ
専門知識の他、選手等との他者との関わり方、自己認識能力の向上

指導者に必要な知識



出典:国際コーチングエクセレンス評議会

https://www.icce.ws/_assets/files/iscf-1.2-10-7-15.pdf

スポーツの教育的価値

努力から得られる喜び	若者は、身体活動、運動、試合、競技の中で、自分自身に、また互いに挑戦することによって、身体、行動、知力において成長していく。
フェアプレー	スポーツでのフェアプレー学習は、地域社会や人生においてフェアに行動する意志を育成し、強固にすることにつながる。
敬意／尊重の実践	多文化的な世界に生きる若者が多様性を受け入れ、尊重し、友好的な態度を実践することで平和と国際理解が促される。
卓越性の追求	卓越性を目指すことは、若者が積極的になり、健全な選択をし、どんなときでもベストを尽くす上で役立つ。
身体、意志、精神のバランス	学習は頭だけでなく全身で行うものであり、フィジカル・リテラシーおよび運動を通じた学習は、道徳的な学習と知的学習の双方を深める上で役立つ。

(日本オリンピックアカデミー監修『オリンピック価値教育の基礎』2018より)

スポーツのインテグリティ教育

- ・スポーツが様々な脅威により欠けることなく、価値ある高潔な状態

八百長・違法賭博、ガバナンス欠如、暴力、ドーピング等様々な要因により脅かされている。

スポーツマンシップ教育

- 規則（ルール）にしたがう
- 相手を尊重する
- 勝つために最善の努力をする（勝つことよりも最善の努力をする過程が尊い）
- 良い試合をする
- 負けたときの態度（相手を称え、うなだれ落胆することなく、次に備える）
- フォア・ザ・チーム（チームの良き一員として協調し助け合う）
- 審判を尊重する
- フェアプレー（ルール違反などの卑怯な方法で相手より優位に立とうとしない）

(広瀬一郎『スポーツマンシップを考える』2005より)

<コンプライアンス研修会後に実施した自己点検シート>

ハラスメント防止のためのセルフチェックシート

- 自分が意識しないうちにセクハラ・パワハラ等をしている可能性があります
- ハラスメントの防止に向けてまずセルフチェックをしましょう

番号	項目	当てはまる	ある程度 当てはまる	あまり当て はまらない	全く当て はまらない
1	ハラスメントかどうかは相手の受け止め方次第、ということ意識せず発言・行動することがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	「この程度ならば相手も許容するだろう」という思い込みで部員等と接することがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	年齢、容姿、恋人の有無や結婚等について、部員等にたびたび聞くことがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	男女・個人・世代によって感じ方や受け止め方が違うということを考えずに発言・行動することがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	必要以上に他人の顔や身体を眺めたり、スキンシップのつもりで髪や体に触れることがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	人間関係を良くするためには、多少の性的な冗談を言い合えるくらいでないといけないと思う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	「酒の席」では部員等に対する強い要求や言動、身体的接触がある程度許容されると思う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	「酒の席」を華やかにするため上司の周りに女子職員や女子学生を座るよう指示することはよくある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	セクハラに関して本当に嫌ならその時に拒めばよいのであり後から言うのはおかしいと思う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	選手の態度が目に残り注意しても直らない場合には、頭を丸めて反省させるのも一つの方法だ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	試合で決定的なミスをした選手には部活をやめると叱責したり、その選手を無視してもよいと思う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	部員との信頼関係があればコーチ、監督、部長等の指導者間での話し合いは特に必要ないと思う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	自分の部活動では信頼関係があるので部員等から相談を受ける体制は必要ないと思う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

② 産学官連携による『中学校部活動支援事業』に関する連携協定締結

令和元年12月3日（水）岩沼市役所にて、岩沼市・仙台大学・(株)フクシ・エンタープライズ社における、「中学校部活動支援事業」に関する連携協定（三者協定）を締結。本協定は、教育現場の長時間労働における問題の解決が大きなねらいであり、岩沼市内の部活動に対して、本学から学生を派遣し、部活動指導を行う取組みである。

本学にとっては、将来指導者を目指している学生に対して、大学で学んだことを教育現場で実践できる貴重な機会でもある。

岩沼市内中学校の女子バレー部の指導に当たっている学生（本学健康福祉学科4年）は「将来は学校の先生になってバレーボールを教えたいと考えており、こういう機会を頂けることは私にとって非常に嬉しく、生徒の皆さんにもバレーボールの楽しさを知ってもらえたらと思います」と述べている。

三者による定期的な打ち合わせを行いながら、今後さらに活動の充実を図っていくこととしている。

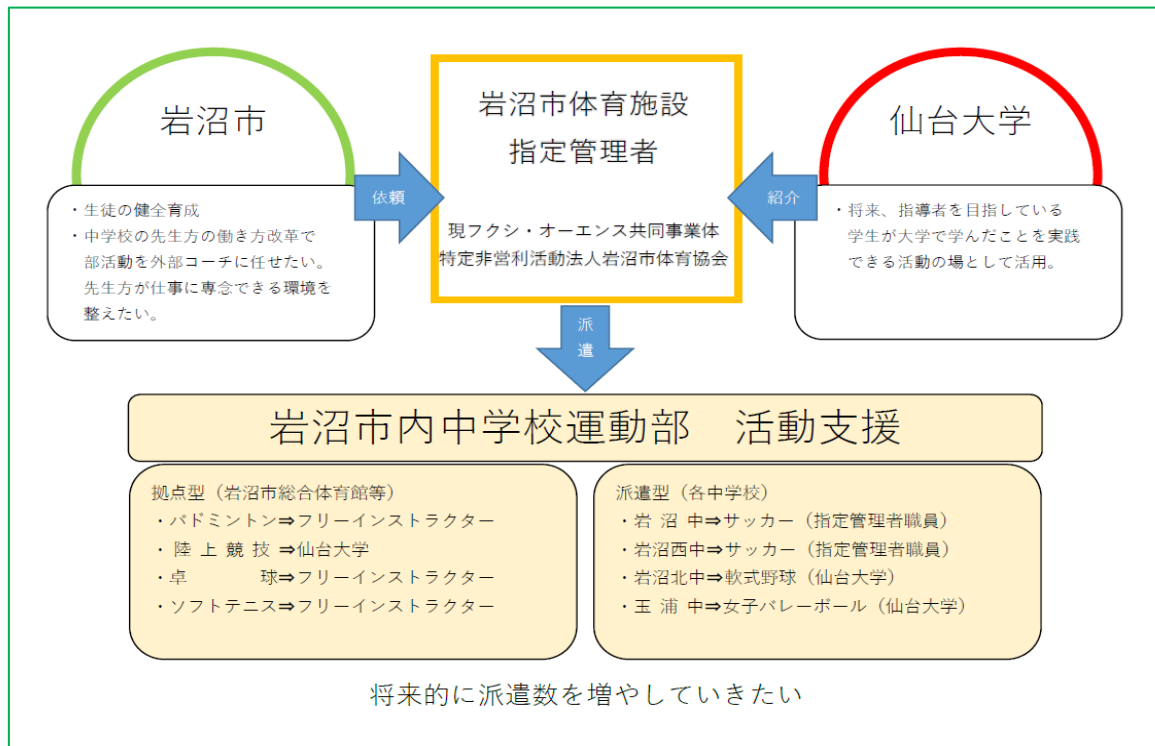
なお、本協定の様子は当日のニュース番組や地元新聞社にも取り上げられた。

<連携協定調印式の様子>



<部活動支援事業の形態>

拠点型と派遣型の支援形態を構築、実施競技数を徐々に増やしていく計画となっている。



中学生スポーツ教室

【目的】
部活を指導することによる課題

中学校先生方の労働時間

先生方が仕事に専念できる環境

未経験の先生が顧問になってしまう

生徒の健全育成

外部コーチに依頼することにより、課題を解決できる

【拠点型】 岩沼市総合体育館で4校合同練習会

詳細

種目	曜日	時間	平均参加	担当講師	対象	料金	道具
バドミントン	月	17時～(90分)	約50名	フリー講師	部活動所属者	無料	各自持参
バラエティー教室	火	18時～(60分)	約15名	自社職員	市内小中学生と保護者		
陸上競技	水	17時～(90分)	約15名	仙台大学生	市内中学生		
卓球	木	17時～(90分)	約40名	フリー講師	部活動所属者		
ソフトテニス	金	17時～(90分)	約50名	フリー講師	部活動所属者		

【派遣型】 講師が各学校へ伺う

詳細

派遣実績	中学校	部	講師	曜日	内容
	岩沼中学校	サッカー部	講師 自社職員	火曜日	技術指導
	岩沼西中学校	サッカー部	講師 自社職員	月曜日	フィジカル指導
	岩沼北中学校	野球部	講師 仙台大学生	不定期	技術指導
	玉浦中学校	女子バレー部	講師		技術指導

※ 内容について、競技力指導については指導経験者を配置し、競技に関わる体カづくりや怪我予防等の指導は当社職員を配置する。
 ※ 内容について、上記例の他に要望があった場合は、指導可能な内容か当社で判断し、派遣の有無を決定する。